



2021年10月15日

各位

会社名 明豊ファシリティワークス株式会社
代表者名 代表取締役社長 大貫 美
(コード番号：1717 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 経営企画本部長 大島 和男
電話番号 03-5211-0066

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2022年3月期第2四半期累計期間 個別業績予想の修正 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	1,830	330	330	228	円 銭 19.99
今回修正予想 (B)	2,015	380	380	263	23.06
増減額 (B - A)	185	50	50	35	
増減率 (%)	10.1	15.2	15.2	15.4	
(ご参考)前第2四半期実績 2021年3月期第2四半期	1,785	277	279	183	15.05

(2) 2022年3月期 通期 個別業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	4,270	920	920	638	円 銭 55.73
今回修正予想 (B)	4,370	920	920	638	55.73
増減額 (B - A)	100	—	—	—	
増減率 (%)	2.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 2021年3月期	4,240	909	910	620	52.30

2. 修正の理由

2022年3月期第2四半期累計期間の業績については、社会的にCM（コンストラクション・マネジメント：発注者支援事業）に対する期待が高まる中で、社内で管理する受注粗利益は過去最高を更新し期初予想を超過した結果、売上高は期初予想を上回る見込みとなりました。

また、今期新たな事業セグメントとして展開しているDX支援事業におけるシステム開発について、外部システム開発会社を戦略的に活用したこと等により増加した外注費（売上原価）を吸収し、営業利益、経常利益及び四半期純利益も期初予想を上回る見込みとなりました。

2022年3月期の通期業績予想の業績につきましては、第2四半期累計期間における売上高等の超過状況を踏まえ、通期売上高が期初予想を上回る見込みとなり、修正することといたしました。

※上記の予想数値は、本資料の発表時現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上